

新ひだか町図書館・博物館開館 10 周年記念企画「本馬くん絵本シナリオ大賞」

募集期間 令和 6 年 9 月 18 日(水)～令和 7 年 3 月 30 日(日)

応募要件 新ひだか町在住・在学・在勤の中学生以上の個人もしくは団体

応募総数 66 作品

大 賞〔1 作品〕 「本馬くんのこのほんどうぞ」 酒井 みき

優秀賞〔1 作品〕 「本馬くんのどうぶつとしょかん」 山口 修二

佳 作〔2 作品〕 「ほんまくんのありがとう」 目黒 愛弥
「ぼくのひみつ」 高橋 歩

【講 評】

新ひだか町図書館・博物館開館 10 周年記念事業として開催した「本馬くん絵本シナリオ大賞」に、多くの作品をご応募いただき感謝申し上げます。

当館のオリジナルキャラクターは、馬産地に存する図書館に相応しく、かつ図書館のイメージアップにつながるキャラクターとして、新図書館がオープンした平成 27 年度末に、イラストレーターのおがわじゅり氏の手によりその姿が生み出されました。

翌年、図書館開館 1 周年記念事業として、町内在住の小学生以下を対象に「オリジナルキャラクター愛称募集事業」を実施。応募総数 79 点の中から「本馬くん」が選ばれ、以来図書館活動の PR に欠かせない存在として愛され、親しまれてきました。

今年、開館 10 周年を迎えるにあたり、関係各所からのご協力のもと、「本馬くん」を主人公にしたオリジナル絵本を発刊する運びとなりました。

今回の「シナリオ大賞」では、「本馬くん」のキャラクターがいかに魅力的に描かれているか、を主眼として各賞を選ばせていただきました。

受賞者の皆様、おめでとうございます。

また、惜しくも選にもれた方々も、今後とも「本馬くん」を可愛がっていただきますよう、お願い申し上げます。

大賞（最優秀賞） 「本馬くんのこのほんどうぞ」 酒井 みき さん

牧場で暮らしている本馬くんが、自ら本を持ち歩き、いろいろな登場人物それぞれに役立つ本をお勧めするという内容。

テンポよく繰り返される本馬くんと他の登場人物との掛け合いが心地よいとともに、起伏のあるストーリー展開で、原稿を読んでいるだけで自然と場面が浮かび、絵本の原作として完成度が高い作品であることが高評価につながりました。

本馬くんが楽しく本をお勧めしている様子に、読み手である子どもたちが本を楽しんでいる、役立つものと受け止め、図書館により親しみを持っていただけるのではないかと期待感も高まる作品となっています。

優秀賞 「本馬くんのどうぶつとしょかん」 山口 修二 さん

本馬くんが館長を務める「どうぶつとしょかん」にいろいろなお客さんがやってきて、思い思いに過ごすという内容。

この作品も繰り返しの楽しさがあり、図書館の魅力を伝える優れた内容ではありましたが、本馬くんの存在感、ストーリー展開の起伏という点で大賞受賞作が一步上回り、次点とさせていただきます。

佳作 「ほんまくんのありがとう」 目黒 愛弥 さん

本馬くんが、身近な人たちとの関わりの中で「ありがとう」の意味を知るという内容。対立や失敗など「転」となる部分がなく、そこに物足りなさがありました。

本馬くんが小さな子どもとして登場しており、絵本の読み手に親近感を抱かせること。また、家族や友人と過ごす日常の中で、思いやりや感謝を伝えることの大切さに気付くという流れが自然に描かれており、好感のもてる作品でした。

佳作 「ぼくのひみつ」 高橋 歩 さん

新ひだか町の図書館に住んでいる「うま」である本馬くんが、なぜ頭にも背中にも本を乗せて暮らすようになったのか？を明かす内容。

重要な登場人物である「ねこ」についての説明が不足しているため、読み手が置いて行かれる感がありました。

読み手に語りかける文体と、本馬くんのキャラクター設定に深く踏み込む内容が優れており、佳作とさせていただきます。